

壇上で慶詞を述べる学生ら＝神戸市中央区で



神戸山手学園創立90周年

卒業生ら150人が祝う

神戸市中央区で
式典
神記

神戸山手女子中・高（神戸市中央区）などを運営する学校法人、神戸山手学園（菅尾長司理事長）が創立90周年を迎え、神戸ポートピアホテルで19日、記念式典を開いた。卒業生や元教員など約150人が訪れ、学校の歴史を振り返った。

1924年、地元住民や保護者らの寄付で、女学校「山手学院」として設立された。47年に神戸山手女子中・高校と現在の形になり、50年に短大を開設。99年には大学も設置した。短大、大学は現在、共学となっている。式典で菅尾理事長は

「阪神大水害、神戸空襲、阪神大震災を乗り越え、兵庫の女子教育の一端を担うことができた」と学校の歴史を紹介。来賓の井戸敏三知事は「ハイカラな神戸で、ハイカラな大正13年に生まれた学校。神戸らしさを身につけた学生が世界で活躍してほしい」とあいさつをした。その後、学生代表で高校3年の吉岡彩さんと大学3年の田中直毅さんが「学校の歴史を後輩に引き継ぎたい」などと慶詞を述べた。

【久野洋】